**２０１２年内分泌・代謝系Ⅱ**

（七里先生）

原発性アルドステロン症の①疾患概念、②診断、③治療について記せ

クッシング症候群を分類し、臨床症状、および診断について述べよ

副腎皮質機能低下症の①臨床症状、②検査について記せ

レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系の遮断薬が、体液制御・循環系に及ぼすであろう作用について論ぜよ

（守屋先生）

【１】５８歳の男性、口渇、多飲を主訴に受診した。５年前から健康診断で尿糖を指摘され、詳細は不明であるが３年前からは血糖高値を指摘されている。しかし、精密検査を受けたことはない。母親が糖尿病である。初診時血圧１３５/７２mmHg、脈拍８６/分、整、口唇・舌はやや乾燥。胸腹部に異常は認めない。

1. 他にどのような症状がみられうるか、列挙せよ
2. 糖尿病と診断するためには、受診当日にどのような検査を行うべきか、列挙せよ。
3. 上記２）でどのような結果が得られたら糖尿病と診断できるか、記載せよ。

【２】糖尿病性ケトアシドーシスと診断するために必要な血液検査所見を３つ列挙せよ

【３】５５歳の女性２年前から額が突出し、下顎が大きくなり、他人から顔貌の変化を指摘されるようになった。１年前から指輪がきつくなり、靴のサイズが合わなくなった。

上記から考えられる疾患の、①疾患概念、②臨床症状、③検査所見（血液・尿所見、負荷試験と画像所見）、④治療について記せ。

【４】皮下脂肪型肥満と内臓脂肪型肥満のそれぞれの特徴を記せ。

（高田先生）

1. バセドウ病の薬物治療、アイソトープ治療、手術、それぞれ利点欠点について記述せよ。
2. スタチン（HMG-CoA還元酵素阻害剤）の適応、作用につき記述せよ。

（松原先生）

・経口血糖降下薬の適応、禁忌、副作用について述べよ。

・消化管ホルモン産生腫瘍一つ挙げ説明せよ。

（鎌田先生）

原発性副甲状腺機能亢進症の血液・尿検査所見について知るところを述べよ。

（市川先生）

副甲状腺機能低下症について、PTH作用発現低下のメカニズムの違いで２つに分類し、それぞれ代表的な疾患名を列挙せよ。

（岩村先生）

a 主に副腎皮質から発生する。

ｂ 糖尿病を合併することが知られている

ｃ　循環血液量の著名な増加により高血圧をきたす

ｄ　腫瘍の局在診断には副腎静脈からの静脈血サンプリングが有用である

e　術中の高血圧発作を予防するためには術前からの水分制限が重要である

（岡先生）

１０歳、男児。小学校に入学した頃より身長が伸びなくなり、１年前から視力低下に気づいていたが放置。最近になって全身倦怠感の悪化とともにのどが乾くようになり、頻繁にトイレに通うようになった。受診時造影MRI矢状断を示す。（画像は複製に際して無断でネット上から拝借してます）

この患者に認められる可能性の高い検査所見はどれか。２つ選べ。



A 　両側鼻側半盲を認める

B　頭部CTで石灰化を認める

C　低ナトリウム血症を認める

D　成長ホルモン分泌過剰を認める

E　副腎皮質刺激ホルモン分泌低下を認める